

ゴルフのまちをPR

ゴルフをしている方はもちろん、これまでゴルフに触れる機会がなかった方にも、ゴルフの魅力や楽しさを知ってもらうきっかけをつくり、ゴルフを通じて三木市を訪れる人や関わる人を増やすことで、交流人口の拡大につなげています。また、気軽にプレーや練習ができる環境が整っている強みを生かし、ゴルファーの移住・定住を促進することで、人口増加につなげることをめざしています。

魅力を広める取組

全国から女子プロが集結！

三木市レディースゴルフトーナメント

全国から多くの選手や観客が訪れる女子プロゴルフトーナメント



ゴルフ場を楽しむイベント！

ゴルフまつり

ゴルフクラブ試打、芝生すべりなど多くの方が楽しめるイベント



ジュニアゴルファーの聖地に！

全国高等学校・中学校ゴルフ選手権 春季大会(春高・春中ゴルフ)

将来のプロゴルファーをめざす中高生が挑む、全国大会



オリンピック選手を発掘！

全国中学生High Quality教育合宿・全国高校生強化合宿

全国から推薦された中高生を対象に、ゴルフに関する教育やマナー教育などを受けられる合宿



全国に誇る「ゴルフのまち三木」

～ゴルフで広がる まちの魅力～

問 (市)ゴルフのまち推進課



ゴルフのまち三木のホームページはこちら

西日本最多となる25カ所のゴルフ場がある三木市。ゴルフをスポーツや娯楽、教育の柱にとどめることなく、まちづくりの柱の一つとして位置づけています。また、子どもたちが幼い頃からゴルフに親しめるよう、小学校でゴルフ体験を実施するなど、次世代につなぐ取組も進めています。

今回の特集では、「ゴルフのまち三木」が進めるさまざまな取組を紹介いたします。

ゴルフは、基幹産業の一つ

市内25カ所のゴルフ場は、約400人の雇用を生み出しています。また、ゴルフ場利用税交付金や固定資産税などを合わせると、年間約10億円の税収をもたらしており、ゴルフは市を支える重要な基幹産業となっています。

さらに、小学生からプロまで、幅広い大会が数多く開催されています。大会開催時には、関係者や遠方から訪れる選手が宿泊施設や飲食店を利用することで、地域経済に波及効果が生まれています。

全国唯一！ 「ゴルフのまち推進課」

令和2年4月、ゴルフを核としたまちづくりをさらに推進していくために「ゴルフのまち推進課」を設置しました。未来のゴルファーを育てる取組として、子どもの頃からゴルフに親しめる環境づくりに力を入れています。ゴルフを始めるきっかけづくりとして、クラブの貸出しを行い、誰でも気軽にチャレンジできる仕組みを整えています。さらに、プロゴルファーから指導を受けられる教室を開催するなど、「ゴルフのまち三木」だからこそ実現できる事業を展開しています。

ゴルフのまちを推進するための3つの特色



協働で盛り上げる ゴルフのまち

ゴルフの魅力を広める取組を進めるのは、市だけではありません。民間事業者、関係団体、市それぞれの強みを生かし、互いに協力しながら、まち全体でゴルフを盛り上げ、その魅力を広く発信しています。

次のページでは、3つの特色を軸に、ゴルフのまちを推進する具体的な施策について紹介します。

コラム

ゴルフ場利用税ってなに。

ゴルフ場利用税は、ゴルフ場を利用した人が県に収める税金です。納められた税金の70%は、ゴルフ場の所在する市町村に交付されます。これにより、市内の道路整備やごみ処理経費などをはじめ、地域のさまざまな一般行政サービスに役立てられています。

インタビュー

ゴルフがぐっと身近になる1日を

ゴルフまつりの魅力について、ゴルフまつり実行委員会実行委員長の長谷田さんに話を聞きました。

今年で3回目

3世代で楽しめるイベント

ゴルフまつりは、より多くの人にゴルフに親しんでもらうことを目的に始まり、今年で3回目の開催となります。ゴルフは、年齢を問わず楽しめる生涯スポーツです。3世代で来場される姿も見られ、ゴルフを通じた交流の広がりを感じています。

ゴルフを身近な存在に

小学生スナッグゴルフ大会を開催するほか、パター体験やカート乗車体験などゴルフに親しめるさまざまな体験が楽しめます。また、キッチンカーや子ども向けの縁日ブースなどもあり、普段ゴルフ場に来る機会のない方にも、ゴルフ場の雰囲気や自然の豊かさを体感していただけます。



ゴルフまつり実行委員会
実行委員長 長谷田 吉弘さん